

KSKP

編集人 特定非営利活動法人ゆめ風基金事務局 (〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106)
TEL 06-6324-7702・FAX 06-6321-5662・郵便振替 00980-7-40043
MAIL info@yumekazek.com・WEB https://yumekazek.com/

No.
93



書
左右津安禪子

ゆめ風基金、 これからもよろしくお願ひします

理事
細井 清和
ほそい きよかず

ゆめ風基金の理事の細井と申します。普段は、「障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議（略称…障大連）」という長つたらしい名称の団体で仕事をしています。障大連は、大阪府内約90の障害者団体から成り立っていて、行政に対する政策提言（交渉）や障害者団体の共通認識づくりのための取り組み（セミナーや連続研修会の開催）、事業や課題ごとの取り組みを行っています。（ヘルパー派遣事業、グループホーム、自立支援、施設・地域移行、交通アクセスなど）。

僕自身は、2014年に亡くなられた楠 敏雄さん（元障大連代表）に紹介されて、ゆめ風基金の理事になりました。もと、1995年の阪神淡路大震災の時に被災された障害者を大阪で受け入れる取り組みなどで関わりがありました。ゆめ風基金では、被災地での福祉事業の支援を担わせていただいています。

ずいぶん長く障害者と関わってきたのですが、僕が活動を始めた1970年代の半ばは、今のようなサービスマン制度がほとんどなく、介護も「ボランティア」が中心でした。障害者

INDEX

- 01 ゆめ風基金、これからもよろしくお願ひします
- 03 「ゆめ風応援団」、まだまだ募集中です!
- 04 令和2年7月豪雨災害について
- 06 BCP避難訓練
- 07 ゆめ風ネットからこんにちは 第13回

- 08 リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十七回
- 10 キャンパをいただいた団体 / 事務局のうごき
- 11 会計報告
- 12 各地からの風だより

のみんなが安心して地域で生活できるようにみんなで、行政に制度要求を積み重ねてきました。今現在、制度はまだ不十分な点も多く残されていますが、その当時と比べると、障害福祉のサービスは「発展」し、多くの障害者の生活がこのサービスによって支えられていると思います。

今回の巻頭言では、障害福祉事業を行っている団体の皆さんに、もっとゆめ風基金に参加していただきたいと思い、メッセージを送りたいと思います。

いつたん災害が起こった時、障害者は大変な困難に直面します。障害を持たない人たちももちろん大きな困難に陥りますが、災害発生の際の入手や避難行動のための必要な支援、被災後の日常生活での支援の確保など障害者ならではの困難がたくさん付きます。ゆめ風基金は、災害時における緊急の資金・物資支援ポラン

ティアの派遣はもちろんのこと災害が起きる前からの減災・防災の取り組みへの支援、災害に関する研修啓発活動など幅広い活動を行っています。

今、障害者の生活に大きくかかわっている障害福祉サービス事業者の皆さんは、自分の所の障害者の生活支援に責任を持っておられますが、「万一の災害」を想定したゆめ風基金の取り組みにも、是非、積極的にかかわっていただければと思います。1つは、「万が一の時」を想定したBCP (Business continuity plan) Ⅱ事業継続計画の作成です。障害者の生活に不可欠なサービス（ヘルパー派遣、日中活動、グループホーム、相談支援など）をいかに維持・確保・再建するのかというプラン作りです。そしてそれに連動した備品の確保や避難訓練、避難生活体験なども重要です。また、「万が一の時」を想定した「災害時個別支援計画」の策定も重要です。障害の状況

や家族関係、住環境などを踏まえながら、当事者と一緒にできるだけ具体的に災害時の支援計画を作っていくことです。更に、地震対策の一環として、それぞれの住居での家具転倒防止なども進めていきましょう。

同時に、自主的な取り組みだけではなく、行政に対して、災害時の対策を作るときに障害者の参画を求めていくことも必要だと思っています。災害発生時の情報伝達や避難行動支援、あるいは避難所のバリアフリー化や障害者への合理的配慮の標準化（ガイドライン）づくり、二次避難所（福祉避難所）の有効な仕組みづくりなど、多くの課題があるだろうと思います。

障害福祉事業者のみなさんは、自身の仕事の大事な一環として、これらの課題に、ぜひ積極的に取り組んでいただき、併せて、ゆめ風基金の取り組みに、物心とものご協力を賜りますようお願いいたします。

92号でもお願いしましたが、災害での救援・支援活動では、より小さな範囲での情報収集がとて重要になります。ゆめ風基金では多発する自然災害に対応するため「ゆめ風応援団」を募集しています。7月からの3か月で46の団体にお応えいただいています。引き続き募集中です。ぜひご協力ください。

応援団についてはホームページの「障害者防災」をご覧ください。申し込み用紙のダウンロードは右記より。<https://yumekazek.com/bousai/doc/panfu-ouendann.pdf>

応援団になってくださったかたからのメッセージ、一部をご紹介します。

弊社でご協力できる事があれば、なんでもおっちゃんしてください。[大阪市(株)ユーダ] / 札幌市東区を中心に重度の障がいをお持ちの方の支援をしている NPO 法人です。2018 年北海道胆振東部地震の際は、大変お世話になりました。皆一丸となり一つ一つ前に進んでおります。今後共宜しく願います。[札幌市(特非)自立支援センター歩歩路] / 前年度、地域での一般と一緒に日に福祉避難訓練を実施することができたのですが、今年度はコロナの関係があるということで福祉避難訓練が中止になりました。一般の避難訓練は実施されました。当事者の方の行政はアンケートを取るだけで何もしてくれない、毎回がっかりしてばかりだという言葉が身にしました。自分たちだけでも一人ずつでも理解を広げていきたいと思えます。また研修等にも参加できるときには参加させていただきたいと思えますのでよろしく願います。[鳥取県(特非)回想療法センター鳥取就労B 夢工房こぼちゃん] / 2019年の台風19号被害の折、支援していただきました。今後は皆さまの活動のお手伝いができればと思います。[郡山市(特非)ほほえみの間] / 主に児童の通所支援を行っている法人です。災害が多くなっている近年、このような取り組みは有り難いです。今後とも宜しく願います。[福島県本宮市(特非)オハナ・おうんじゃー] / まだまだ障がいの方の避難場所は、なんちゃって状態で現実味がありません。いつも避難訓練も一般の人のあとに…って言われて、去年は防災室長や障がい課長等に「障がいの人の所には後から災害が来るんじゃなく、同じ時間に来るんですよ。同じ時間に同じ内容の避難訓練をするべきだ」と話し合いを設け、実施できましたが、今年はコロナで無しになり、一般のといえ実施されました。本当に悔しいね～といいながらも、待てられないので少しずつ自分たちでできることを探しています。今後ともよろしく願います。[泉南市 日本防災士会 大阪府支部泉州ブロック] / 平成23年度より年に一度、その年度の収益の1割をゆめ風基金にお送りさせていただいています。当事業所B型継続支援事業のパン部門のエールシフォンケーキの売り上げ1割です。今後も続けさせていただきます。今回の大雨では、ため池の決壊の危険、土砂崩れ等の心配がありました。他地域での大きな被害に心が痛みました。登録よろしく願います。[大分県国東市(社福)共生荘 障がい者サポートセンター三角ベース] / 会の活動理念:障がいのある人もない人も、誰もがお互いの立場を尊重し、支えあいながら安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す。主な活動:月2回「わたしのたまり場」を開催している。2014年に「逃げ遅れる人々」の上映と小野和佳氏を迎えてトークショーを開催(佐倉市社会福祉協議会助成金事業)。動員数317名(スタッフ含む)。全国で起きている災害+コロナ禍、ハンディーがあるというだけで、ないがしろにされてはいけない。皆で声をあげていく、そのメンバーでありたい。[千葉県佐倉市:手をつなぐ・さくら] / お世話になっております。東日本大震災、そして台風19号でのご支援、本当にありがとうございました。福島で何か、やることがありましたら、ご協力致しますので、お声かけ下さい。[相馬市(特非)みんなのしあわせプロジェクト 工房もくもく]

令和2年7月豪雨災害について

熊本県集中豪雨による被害と再建まで

NPO法人
ワークシヨップひなたぼっこ
@熊本県天草市

山中 祥悟



当事業所は熊本県天草市で一般就労が困難な障がい者に対して、就労の場を提供する就労継続支援B型事業を行っています。主に手芸品販売やうどんの店を営業しています。

令和2年7月4日未明に熊本県を襲った集中豪雨により近くを流れる川が氾濫を起こし、当事業所は約1mほどの浸水被害にありました。事業所内の備品や書類、送迎車も水没してしまい全てが使用できない状態となりました。就

労で使用していたマシンや冷蔵庫、また製作済みの製品も水没してしまい、被災直後は就労の提供が困難な状態でした。

まずは、家具や備品、事業所内に流れ込み積もっていた土を全て外に撤去する作業から始めました。近隣の住民の方やボランティア

の方などの協力を得て作業を行いました。当時は断続的に激しい雨が続けていた為に作業がはかどらず、全てを出し終えて土を撤去するまでに1週間近くかかりました。そこで改めて事業所全体の被害状況が確認出来ました。フローリングや机、壁といった部分に破損が多くみられ、時間が経っていたことでカビも発生してしまっていました。

そこから再建をするにあたり、まずはフローリングや壁の修理を行い、役場や他の事業所から机や椅子などの備品を譲って頂きました。また、認定NPO法人ゆめ風基金様よりパソコンや就労で使用する芝刈り機、炊飯器等を支援して頂きました。事業を再開するに際し、書類が水没してしまった為パソコンで事業に必要な書類の再

作成を行う必要がありました。これにも多くの日数が掛かり、その後は手芸品の再製作やうどんの店を再開する為の清掃などが8月末まで続きました。そして9月からやっと以前と同様まで就労を提供することが出来る状態まで再建することが出来ました。

集中豪雨による被災により、一時は途方に暮れる状況に陥ってしまいました。しかし、地域の方々やボランティアの方、また支援して頂いた団体の方々のお陰で無事に再建することが出来ました。今まではテレビで見た光景だったものが現実として目の前に現れた時のどうしたらいいのかという絶望的な感情、また再建にあたり協力して頂いた方々への感謝は言葉に出来ないほど嬉しく、心から感謝しております。

感謝を忘れず、 障害のある人の 幸せのために

社会福祉法人
白いキャンバス
@熊本県人吉市

理事長 今坂豪志



当事業所は2階建てで、1階が40cmほどの床上浸水と比較的小さな被害ですんでおります。しかし、フローリングの床が盛り上がり、割れ目ができていたり、エアコンの室外機が浸水しエアコンが全て使えなくなったり、送迎や資材運搬用の車3台が半分ほど浸水し全て廃車になりました。キャンバスは被害に遭いましたが、利用者さんや職員さんが全員（計23名）無事であったことは本当に良かったと思っております。

被災後すぐ、大渋滞していたにもかかわらず、遠方より（多くは熊本市内）わざわざ支援物資を届けに多くの方々が駆けつけてくださいました。災害ゴミの運搬のため、2トントラックも貸していただきました。泥を出す作業や災害ゴミを運ぶお手伝いもしていただきました。職員さんも、今後について大きな不安があった中にもかかわらず、泥だらけになりながら、雨に濡れながら、前を向いて日々汗を流してくださいました。このように、数えればきりがありません。

支援やご協力をいただきました。

片付けがひと段落したのが2週間後の7月17日でした。2階を使って、一日でも早い再開を目指しておりましたが、エアコンが使えないこと、2階の窓を開けると粉塵が入り込み、目やのどの痛みなど、健康被害のおそれがあることなどにより、2階を使つての再開は困難と判断しました。そこで、他の場所を借りて活動を再開する方向に進めることになりましたが、場所がなかなかみつかりませんでした。そんな中、職員さんたちが様々なアイデアを出したり、取引業者さんが場所を探してくださいしたりしたおかげで、なんと8月17日から活動を再開することができました。また、市内にある病院のご協力により、9月の1か月間、無償で多目的ホールをお借りすることができました。そのおかげで、キャンバス以外での活動場所についてじっくり考えることができました。

現在は、涼しくなってきたこともあり、2階と仮設のプレハブで活

動しております。プレハブは近くの土地をお借りすることができたため設置することができました。このプレハブ設置も、職員さんのアイデア、設置費用の支援や行政などの理解があつて実現しました。また、寄贈していただいた車が納車され、遠方の方のみ送迎も再開しました。

当法人にとって大きな課題の一つが、1600万円以上する改修工事費用の支払いでした。今回、ゆめ風基金様から、その費用を全額お貸しいただけることになりました。そのおかげで、利用者さんの幸せのための新たなキャンバスづくりに全力を注ぐことができるようになりました。ここまで長々と書いてしまいましたが、私たちの想いはただ一つです。感謝の気持ちを決して忘れず、これからも、障害のある人の幸せのために、利用者とその家族と職員の幸せを心から願い、生きる喜びと明日への希望につながる福祉の実践を通して、心豊かな社会づくりに貢献してまいります。

「BCP研究会」主催の 避難所訓練について

事務局 八幡隆司

今回は「コロナ禍での避難所」について考えよう、と大阪市内の長居身体障害者スポーツセンター第1会議室で「BCP研究会」のメンバーと避難所訓練を開催しました。

午後1時半に受付を開始。参加者にはコロナの症状がないかどうかなどを調べる健康チェック表を記入してもらい、非接触型体温計を用いて検温。今回、マスクは聴覚障害の方がいることを考慮し、マウスシールドに付け替えてもらい入場。

まず始めに段ボールベッドの組み立て作業。今回はメンバーの繁(しげ)さんと夫婦の紹介で、京都で段ボール会社を営みながら、避難生活を研究しているという水谷さんに来てもらいました。また、段ボールベッドや間仕切りの提供もしていただきました。段ボールベッドは耐荷重7tということまで非常にしっかりしています。

その後、イタリアへ視察に行った経験を持つ水谷さんの講演。イタリアでは車いす用トイレや、温かな食事を作るキッチンカー、冷暖房の整った各世帯向けのテントやベッドなどが、48時間以内に届けられることが法律で義務付けられているといいます。

被災した自治体の職員が避難所の管理をする

のと違い、イタリアでは多くのスタッフが外部からやってきて避難所の支援にあたりと説明されました。

また日本は豊文化だからベッ

ドがないと思われがちですが、イギリスでは第二次世界大戦中に、避難した人たちが雑魚寝だったため病気になる人が急増、すぐ避難者のためのベッドが用意されたそうです。新型コロナウイルスでようやくベッドが当たり前になりつつありますが、災害関連死を減らす意味でもベッドは重要です。段ボールの協会では1日5000個のベッドが作れる会社が400あまりあり、中小を加えるともっと段ボールベッドが生産できます。発災の翌日には提供ができると聞きました。また2M×2Mの区画、1Mの通路を配置すると避難所で避難できる人が少なくなり、より多くの避難所が必要になることも実感しました。

イタリアには福祉避難所などはなく、みんなと同じ場所で障害者も無理なく生活できるように配慮がされていて、改めて日本の災害対応が進んでいないことを感じました。質疑応答も活発にあり、意義のある避難所訓練となりました。



お詫び と訂正

前号(92号)の藤原久美子さんが寄稿してくださった「リレーエッセイ」中の優生保護法の年代が間違っていました。訂正前の年代は「1968～1996」となっていますが、正しくは「1945～1996」年です。関係者の皆様、被害に遭われた皆様に心よりお詫びし、訂正いたします。

奈良

ひまわりの家は、奈良県のほぼ真ん中の三宅町にあります。奈良県で一番小さな町です。1989年頃、三宅小学校の先生が「子どもたちが卒業した時に、行くことのできる場所をつくりたい。」と言われたことがきっかけで、ひまわりの家をつくる活動が始まりました。2001年、30人の仲間で、知的障害者授産施設（通所）がスタートしました。ひまわりの家がめざすことは、障害者も地域とともに生きていくことです。ひまわりの家には、ピープルファースト（PEF）ジャパン全国事務局と自治組織のクローバー会があります。災害が起きた時には、自分達にできることはなにかと動き始めます。東日本大震災のこと、PF事務局長の中村清司さんは言います。「見に行つて、やっぱり避難生活は不自由な生活やな。避難所に行つただけで馴染めなかつたので、ある作業所に避難した人もいた。避難生活、うまくなつてないのがしんどいなあ。」「福島島の仲間が「肉食いたい」と言つたので、横浜屠場の人と一緒に行つて、肉食べながら交流したなあ。」「（思ひは）困つている仲間を助けたい。今も、東北の仲間と交流している。ずっと続けていきたい。」「クローバー会では、災害が起きた時、ひまわりメンバーに呼びかけ、近くのスーパーや駅前でカンパ活動を行っています。これからも、災害に備えると同時に、災害が起きた時は「困っている仲間を助ける」ために、当事者の方々と一緒に活動していきたいと思つてます。

(社福) ひまわりの家 生活支援員 津野 美智子



ゆめ風ネットからこんにちは



(社福) AJU自立の家 水谷 真

AJU自立の家は、障害当事者運動の中から生まれ、障害者の自立をめざす団体です。障害のせいや社会のせいにしてあきらめるのではなく、社会に働きかけよう、自分たちが利用することでバリアをなくしていくこと、1973年から名古屋で活動を始めました。被災地支援の大きな転機となったのは、20年前9月11日の東海豪雨災害です。台風の接近により秋雨前線が刺激され、東海地方は記録的な豪雨となりました。新川の破堤により愛知県西部が浸水し、この地域に住む多くの障害者と時連絡がとれなくなりました。自身も床上浸水で被災し、車いすのキャスターが浸かったところで救出されたのが、AJU自立の家の創立顧問の山田昭義です。一家を昭和区の事務所へ緊急避難させたところで、山田から「安全確認がとれない障害者を「連絡がつきません」と放っておくとは何ごとか」と喝されました。これをきっかけに、まず現場に入る、現場で情報を得るといふスタイルに切り替わりました。以後、全国各地で大災害が起きるたびに被災地に出かけ、埋もれた声を発掘、支援につなげる活動を展開しました。東日本大震災では発災2日目から現地に入り、被災障害者支援に特化した活動を展開。ゆめ風や障害者救援本部の活動とも連携。岩手県釜石市に拠点を置き、「被災地障がい者センターがまいい」での支援活動を2年間展開しました。そんなこんなで、今も防災セミナーを、地元当事者団体とともに企画、運営しています。これも障害者の仕事として行っています。

愛知

リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十七回

私の防災

私は、24時間人工呼吸器をつけて一人暮らしをしており、常時ヘルパーが2人ついていきます。私には、痰の吸引、胃ろうからの経管栄養などの医療的ケアが必要です。

私の防災の取り組み

私は、災害が発生した時にいつでも避難しやすいように、3日分の栄養剤や滅菌精製水を避難トランクに入れていきます。そして医療器具など期限切れになっていないかを3ヶ月に1回点検しています。私は、呼吸器や吸引器を使用しているので、停電するとそれらが使用できなくなり命に関わります。なので、自宅に大容量のバッテリーを2台、外出時に呼吸器を稼働させる為に1台所持しています。家にある使い古しの予備のバッテリーを停電時に使用しましたが、1時間もつバッテリーもあれば10分しかもたないバッテリーがあることがわかったので、大容量の「SmartTap」というバッテリーを購入しました。このバッテリーだと、呼吸器・加湿器・吸引器・パルスオキシメーター（指にはさむと動脈血酸素飽和度



ひらもと あゆむ
平本 歩

1985年生まれ。生後6ヶ月で人工呼吸器をつけ、7ヶ月でミトコンドリア筋症という病名がつけられる。4歳で退院し、地域の保育園・小学校・中学校・高校へ通う。大学受験をしたが失敗し、予備校へ通う。2011年から一人暮らしをする。現在は、喀痰吸引等の講師活動をしている。

2018年9月4日、台風が発生しました。窓ガラスが割れないように私の部屋は飛散防止フィルムを貼っていましたがお風呂の部屋は窓ガラスが割れない対策をしていなかったで、養生テープを貼りました。今は、お風呂の部屋も飛散防止フィルムを貼っています。14時過ぎに停電と断水がありました。停電したので、呼吸器・吸引器・加湿器を家にある予備のバッテリーに繋いで対応しました。停電後しばらくして、関西電力に呼吸器をつけているので至急復旧して欲しいことを伝える為電話しましたが、混雑していて繋がりました。夕方になっても改善しないので、実家に避難しました。翌日、実家の固定電話から再び関西電力に電話して復旧してもらいたいことを伝えました。その夜に復旧しました。その翌日、帰宅するとまだ断水していましたが、15時半には復旧しました。今回の台風でよかったことは、実家も停電していたけど2時間後に復旧して実家に避難できたこと、悪かったことは、停電したことで断水したこと、すぐ復旧するだろうと思いき、すぐ実家に避難しなかったことです。夕

(SpO₂)と脈拍数が測定できる装置)全てをつけて8時間作動させることができます。3ヶ月に1回バッテリーを充電しています。使い古しの予備のバッテリーは使い物にならないので、今年処分しました。そして、かかりつけ医や呼吸器の業者などが災害時に駆けつけてもらえるように、緊急連絡先を書いた紙を私のベッドの近くに掲示しています。

私の体験

2018年6月18日の大阪北部地震の体験を書きます。

地震が発生した日は、外出予定がなかったので寝ていました。しかも外出しないので外出の用意をしておらず、おまけに吸引器が壊れていて直そうと思いついた積んでいなかったため、いざ避難しようとしても避難できる状態ではありませんでした。幸いにも、自宅に被害はなかったため、避難しないといけないという最悪の事態は免れました。しかし、日中のヘルパーが地震の影響で電車が止まり、交代時間に間に合わず、夜勤のヘルパーに残ってもらいました。結局、2時間遅れて来てくれました。夜勤のヘルパーと待機している間、いつでも避難できるように、ストレッチャーと避難かばんとお風呂の洗い台を外に出しました。地震があつてから、常に夜に外出の用意をしたり、カセットコンロを用意したり、避難かばんが重いのでトランクに変えたり…と、地震対策をしています。

方暗くなつてから避難するのではなく、明るいうちに避難すべきだったなと思いました。

南海トラフ地震について

次に、私が住んでいる地域の災害の被害想定を書きます。南海トラフ地震が発生した場合の震度は、震度7です。かなり大きく揺れますね。実際に迅速に逃げられるかわかりませんが、できるだけそのようにしたいです。津波の時は、近くのマンションかショッピングセンターの駐車場に避難することになっています。

課題

最後に、防災の課題について書きます。地域の防災訓練に参加したことがないので、機会があれば参加したいです。

理由は、近隣の人達に私が住んでいる事を知ってほしいし、どこに集まりどこに避難しなければいけないかを把握したいからです。もし避難所で過ごすとしたら、私は常に人工呼吸器をつけていて電源が必要なので、電源を貸してもらえると助かります。そして、ストレッチャーごと入れるトイレを設置してもらえたら嬉しいです。災害時慌てず避難できたらいいなと思います。

カンパをいただいた団体

2020/06-2020/08

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださったりしています。本当にありがとうございます。

- | | |
|--|--|
| 2/1 作業所ゆう(三田市) | 7/6 (有)エフエムジー |
| 6/3 2月の街頭募金活動分です。8/25、7/24、8/22
の分です(特非)自立生活センター松山(松山市) | 7/7 (株)かくの木(新座市)、(特非)介護福祉センター
北大阪(摂津市) |
| 6/4 田辺三菱製薬労働組合(大阪市) | 7/8 (特非)ビーポップ(さいたま市) |
| 6/12 ひまわりの家(奈良県) | 7/9 (特非)阿波グローカルネット(徳島市)、(特非)自
立支援センター歩歩路(札幌市) |
| 6/16 (特非)介護福祉センター北大阪(摂津市) | 7/10 (株)カタログハウス(東京) |
| 6/17 さやまのペンギン村 些少ですがお使いください
(狭山市) | 7/13 グループホーム桃栗館(生野区) |
| 6/19 (特非)文福(富山市) | 7/16 常在寺(東彼杵郡) |
| 6/19, 7/22, 8/17 健康アメニティたのし(新宿区) | 7/30 (株)ユーダ(平野区) |
| 6/25 (社福)ちいろば会(生駒郡) | 7/31 サポートグループ風(鎌倉市) |
| 6/26, 7/17, 8/20 (特非)ホームベース(枚方市) | 8/21 (特非)あおば(福島市) |
| 6/30 ゆめ風ネットきくがわ(菊川市) | 8/24 (社福)ひまわり 令和2年7月豪雨の被害をみ
て、障害当事者のかたがたが法人内でカンパ活動をさ
れました。少しでもお役に立てますようよろしく願
います(奈良県) |
| 7/1 豊能障害者労働センター(箕面市) 古本市の売り
上げカンパ | 8/31 「共に歩む」ネットワーク(調布市) |
| 7/2 (特非)ウィズアス(長田区) | |
| 7/3 滋賀県障害児者と父母の会連合会(守山市) | |

事務局のうごき 2020年6月から9月の動きを一部ご紹介します。

- 6/19 OSN(おおさか災害ネットワーク)世話役会
- 6/24 BCP会議
- 6/29 理事会、近畿ろうきんさん寄付金贈呈式
- 7/4 「第15回 ゆめ風であいましょう」(東京でのイ
ベント)
- 7/7 「ゆめのたね」あすてる訪問
- 7/10 通信ゆめごよみ92号編集会議第一回、熊本の
災害支援について話し合う「火の国会議」にweb参加 /
令和2年豪雨災害の被害状況を各地に確認、被災地
の会員さんにハガキで安否などをおたずね
- 7/12 「火の国会議」にweb参加
- 7/17 OSN定例会
- 7/29 理事会
- 8/5 通信92号編集会議第二回、ポジ祭実行委員会
- 8/6 富山講演会(webにて)
- 8/10, 17 ビッグアイ主催・障害者防災リーダー研修
(収録)
- 8/20 3.11from関西実行委員会参加
- 8/24 通信92号編集会議第三回
- 8/26 理事会
- 9/17, 18 通信92号発送作業
- 9/16 ポジ祭実行委員会
- 9/28 通信93号編集会議第一回



災害時要配慮者支援ボランティアリーダー養成講座
福祉避難所の開設と運営

この講座では、要配慮者支援活動について基礎から学びとともに、過去の災害時支援活動の事例から、福祉避難所の開設や運営における注意点を学びます。

対象者：災害時要配慮者の支援ボランティアリーダー、要配慮者の相談・援助活動を行いたい方、福祉避難所の開設・運営に関心のある方、福祉避難所の開設・運営に関心のある方

期 日：7月 期 日：8月 期 日：9月 期 日：10月 期 日：11月 期 日：12月

場 所：大阪 期 日：8月 期 日：9月 期 日：10月 期 日：11月 期 日：12月

次 長 岡 田 浩 次 長 岡 田 浩 次 長 岡 田 浩 次 長 岡 田 浩 次 長 岡 田 浩

内 容 要 求 者 支 援 活 動 の 概 要 要 求 者 支 援 活 動 の 概 要 支 援 活 動 の 概 要 支 援 活 動 の 概 要

上・ゆめごよみ発送作業・ボランティアさんと
下・ビッグアイでのオンライン講座のチラシ

NPO法人 ゆめ風基金

ただいまの基金額

貸付金の残高

0円

会計報告**267,763,889**円

これまでの救援金・救援活動費総額

558,200,925円

総会員数

14,966人

		前回報告残高 2020年6月現在	この3ヶ月の動き 7月から9月まで	今回報告残高 2020年9月現在	
収支計算書	収入の部	会費収入	7,572,331	4,314,797	11,887,128
		寄付金収入	19,140,833	5,698,586	24,839,419
		臨時寄付金収入	6,554,542	837,817	7,392,359
		助成金収入	147,420	147,420	294,840
		事業収入	851,920	196,500	1,048,420
		雑収入	125,780	62,594	188,374
		貸付金返済収入	0	0	0
		保証金返済収入	0	0	0
		預り金収入	1,101,564	490,420	1,591,984
		未収入金収入	0	0	0
	未払金収入	0	0	0	
	合計	35,494,390	11,748,134	47,242,524	
	支出の部	救援金支出	11,614,016	6,661,175	18,275,191
		救援活動支出	0	0	0
		貸付金支出	0	0	0
		基金拡大活動支出	241,885	126,990	368,875
		防災活動事業支出	292,910	45,000	337,910
		広報活動事業支出	879,802	348,669	1,228,471
		その他事業支出	571,170	264,960	836,130
人件費支出		6,533,911	2,937,025	9,470,936	
その他事務費支出		2,667,100	1,603,001	4,270,101	
預り金支出		1,188,112	574,410	1,762,522	
未払金支出		282,824	0	282,824	
固定資産購入支出	0	0	0		
保証金支出	0	0	0		
合計	24,271,730	12,561,230	36,832,960		
差引:収支差額		11,222,660	△ 813,096	10,409,564	
貸借対照表	資産の部	基金特別会計預金	268,667,054	△ 903,165	267,763,889
		一般会計現金預金	924,247	90,069	1,014,316
		[現金預金合計]	269,591,301	△ 813,096	268,778,205
		障害者貸付金	0	0	0
		有形固定資産	1,517,306	0	1,517,306
		その他の資産	1,290,506	0	1,290,506
	合計	272,399,113	△ 813,096	271,586,017	
	負債の部	預り金	173,501	△ 83,990	89,511
		その他の負債	400	0	400
		合計	173,901	△ 83,990	89,911
差引:正味財産		272,225,212	△ 729,106	271,496,106	

脚注 1. 今回は7月から9月までの3ヶ月間の報告です。
 2. 救援金は4件の支払いがありました。一部過年度の台風被害によるものがあります。
 3. 7月に発電機などを購入しました。
 4. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風WEBサイトとブログに掲載しています

東日本大震災 **339,904,224**円2016年熊本地震 **55,598,387**円2018年西日本豪雨 **45,164,095**円

本年もあたたかいご支援、本当にありがとうございました

そよ風、こむじ風、六甲おろし

各地からの風だより

2020.06 - 2020.08

◆「共生しなければ命は守られない」を読みながら本当に考えさせられました(荒川区)◆世の中に言いたいこと、いっぱいあるけど、文になりません(入間市)◆退職、すべての自粛生活＝大掃除。中途半端な額ですが家中のあらゆる所にあつたお金です。何かの足しに♡(守口市)◆コロナでどこも大変です。役に立てるとうれしいです(泉佐野市)◆公助が頼りにならない中、ゆめ風基金の活動は励みになります(板橋区)◆こんな時だからこそ支え合いたいです！(川口市)◆コロナ禍にあつて大変な思いをされている方がたくさん。早く安寧をと祈っています(綾歌郡)◆あちこちで震度3〜4の地震がおきていて心配です(豊中市)◆あの10万円の二部です(他にも、同様のメッセージを全国の皆さまからいただきました)◆リンパ浮腫の足が日ごと悪くなり歩くのも大変になってきましたがもう少し頑張ります。80才になりました(前橋市)◆お福分け(吹田市)◆少額ですがカンパを送ります。私自身も70才になり、障害者一級になってしまいました(枚方市)◆どんな世の中にあつても弱い人たちを守ってくれる存在であつて下さい(長岡京市)◆先日、NHKラジオに小室等さんが出演されてうれしかったです。定額給付金の一部です(村山市)◆幸せはお金では買えないといいますが、生活にはお金が必要です。少しですがお役に立ててください(二宮市)◆いつもありがとうございます。年金が入つたので送金させていただきます。世界が平和で平等でみんなが健康で幸福でありますように(高槻市)◆間もなく永さんの命日ですが、6・26に手術して入院の予定は10日間。7・7には退院できる予定ではありますが…(浦安市)◆国際ヨガデーのヨーガイイベントでのドネーションが集まりました(八重山郡)◆心に留めるべき情報と、流してよい情報と惑わされることなく落ち着いて自分の頭で考えなくてはあかんと自分に言い聞かせる日々です。永さんが今の世のさまを、ご覧になられたらなんとおっしゃつたでしょう(甲賀市)◆「ゆめごよみ風

だより」皆さんの活動がよくわかり、ありがたいです。少しですが必要な所に使つて下さい(さいたま市)◆昨年の台風では千葉県は大変お世話になりました。今度はコロナという災禍とどう向き合つか。正念場ですね(松戸市)◆ゆめ風と私をつないでくれた永さんに感謝です(龍ヶ崎市)◆某大臣の発言に促され「へソ」曲がり受給して加えました。厳しい日々が続きます。活動に感謝して居ます(杉並区)◆気軽におしゃべりできる日が早く来ますように(多摩市)◆「忘れられた時に本当に死ぬ」とおっしゃいました。永さん、なかなか死ねませんね。だってあちこちで永さんの話してますもの(川崎市)◆大変な時期こそゆめ風に思いを込めて(江東区)◆新型コロナの収束が未だ見えない中でまだ各地で災害が発生し心が痛みます。ささやかですが、また送ります。お役立てください(川崎市)◆「永六輔さんを語る会」を七夕にいたしました。その時のお客様からの募金と売り上げからの寄付です(鎌倉市)◆次々起こる問題を越えるには皆様の活動が大きな希望となります。ありがとうございました(仙台市)◆大変な状況でも風のそよぎ、お日様のありがたさ、鳥の声、セミの声…感じて今を生きていきたいですね(鎌倉市)◆7月の豪雨災害で被害に遭われたかたのお役に立てれば(他多数)◆最近お金のありがたさを実感しました。僅かですが(津島市)◆この活動を知らませんでした。寄付させて頂きます(新宿区)◆またまた雨の災害！すぐ動く基金様、どうぞよろしく(渋谷区)◆いつも丁寧な会報の紙面づくりに感心しています。少しですがお役立てください(西宮市)◆このやっている事が正しいかどうかわかりませんが…役に立てて頂けたら幸いです(相模原市)◆猛暑とマスクでつらい夏ですね。事務局のみなさまも体調に気をつけてお過ごしください(平野区)◆エールの気持ち、送ります♡(若葉区)

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

編集後記 ▶折田涼さんの「災害に備えて 第二回」は担当者の都合により延期させていただきます。▶新しい障害者スタッフが増えました。来年こそコロナウィルスが終息し、いつもの生活がおくれますように。

ゆめ風ネットワーク連絡先 [faxは06-6321-5662迄]

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟 024-232-7522 三条 0256-34-2448 JDS(東京) 03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 愛知 052-841-9888 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-27-2621 三重 059-202-5782 滋賀 077-543-2844 京都 0774-93-3277 JCIL(京都) 075-671-8484 奈良 0745-42-2919 和歌山 0737-82-4060 わかやま 073-472-6731 伊丹 072-783-4991 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 ひろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9551 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 宇佐 0978-32-3365 ながさき 0957-46-3858 諫早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かごしま 0994-63-8855 沖縄 098-958-2912